

2022（令和4）年度

東北大学法科大学院入学試験 一般選抜（前期）・法曹基礎課程特別選抜（開放型）

試験科目：民事法（商法）

第1問 株式会社の株主総会で、会社が提案した議案と、ある株主が提案した議案とが競合している状況において、会社が、会社提案議案に賛成することを株主に呼びかけつつ、議決権を行使した株主に500円のQuoカードを進呈することは適法か、簡潔に（5行程度）検討しなさい。

第2問 取締役会設置株式会社の代表取締役が、会社の重要な財産を、取締役会決議を経ずに第三者に譲渡した場合、この譲渡の効力はどのように扱われるか、簡潔に（5行程度）説明しなさい。

第3問 株主総会決議によって取締役の報酬額が決議されたが、当該取締役がその後不適切な経営判断をした場合、会社は当該取締役の報酬を減額することができるか、簡潔に（5行程度）検討しなさい。

第4問 公開会社において、募集株式の発行によって引受人らが総株主の議決権の過半数を有することになる場合には、株主に対する通知・公告が要求され、総株主の議決権の10%以上を有する株主がこれに反対する旨の通知をした場合には、株主総会決議による承認が必要となる（会社法206条の2）のはなぜか、簡潔に（5行程度）説明しなさい。

第5問 会計帳簿の閲覧謄写請求権が、少数株主権とされ（会社法433条1項）、会社側に拒否事由が認められている（同条2項）のはなぜか、簡潔に（5行程度）説明しなさい。